

平成17年度第3回
かごしままちづくり会議会次第

○日時：平成17年7月25日（月）午後1時30分～

○場所：かごしま市民福祉プラザ 5階 中会議室

1 開 会

2 報 告

(1) 平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況について

(2) 平成17年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況について（全市的な
事項）

(3) 平成17年度第2回地域まちづくり会議について

3 協 議

(1) 第四次鹿児島市総合計画基本計画等の改訂案について

4 その他

5 閉 会

かごしままちづくり会議委員名簿

(平成17年7月25日現在)

職 名 等	氏 名	摘 要
鹿児島大学法文学部教授	宮 廻 甫 允	会 長
日本ガス株式会社常務取締役	津 曲 貞 利	副会長
吉田地域まちづくり会議会長	西 園 登	
桜島地域まちづくり会議会長	萩 原 道 也	
喜入地域まちづくり会議会長	今別府 健 司	
松元地域まちづくり会議会長	四 元 泰 盛	
郡山地域まちづくり会議会長	槐 島 諭	
株式会社山形屋代表取締役会長	岩 元 純 吉	
鹿児島市衛生組織連合会会長	岡 本 阜 八	
公募市民	中 迎 蘭	
NPO法人地域サポートよしのねぎぼうず代表	永 山 恵 子	
鹿児島市教育委員	奈良迫 ミチ子	
公募市民	野 口 誠	
鹿児島市総務局長	草 留 義 一	
鹿児島市企画部長	新 地 茂 樹	

平成17年度第3回かごしままちづくり会議資料

○日時：平成17年7月25日（月）午後1時30分～

○場所：かごしま市民福祉プラザ 5階 中会議室

目次

	ページ
1 平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表	1 ～ 4
2 平成17年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市的な事項）	5
3 平成17年度第2回地域まちづくり会議概要	6 ～ 9

平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
1	交通計画については、10年後、20年後を見越した方向性があるか。渋滞や環境問題をはしめ、将来の高齢化社会などを考え、鹿兒島市が持続的に発展するためには、車社会をある程度抑制しながら、公共交通を充実させるための目論み、車をかわらないで公共交通が使えるような環境を作るといった方向性を出していかばいいのではないか。	2	企画部	将来の交通体系のあり方や方向性については、今後進展する高齢化も踏まえ、将来の本市のまちづくりの計画の中で、交通渋滞や環境問題などへの取組みについて検討することになり、その中では、公共交通網の整備・充実、大きな柱の一つになると考えている。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (5) 交通体系 / ②市内交通体系 / 47 ページ	2
2	公共交通は重要であり、パークアンドライドなどの試みがなされているが、一方では、バス事業者の抱えている経営的な問題など難しい問題があると思う。公共交通網については再構築しないといけない。	2	企画部	公共交通機関は、市民生活を支えるために不可欠な移動手段であり、今後、将来の本市の快適なまちづくりを検討する中で、公共交通機関の果たすべき役割やその活用は更に重要になると考える。図るために、相互補完的なバス路線の編成、市電・鉄道との結節を踏まえ、バス路線の再編など、公共交通体系のネットワーク化は、重要な課題であるとと考えている。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (5) 交通体系 / ②市内交通体系 / 47 ページ	2
3	合併により水際線が増え、桜島一周を含めれば100キロ近くあると思う。旧鹿兒島市では約30キロの水際線の中で堤防がないところは数百メートルしかない。港湾に関しては国や県の所管であったりするが、この水際線については見直しをしていく必要がある。	2	建設局	港湾の整備等については、今後も、国・県・市連絡会等において引き続き要請し、協議を行ってまいりたい。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (4) ウォーターフロント / 45, 46 ページ	1

平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
4	喜入地域や郡山地域などは幹線道路が片側一車線しかなく、そこに通勤の車や建設・流通などのトラックなどが集まっている。地域の要望はよくわかるが、それ以前の交通の問題だと思ってしまう。地域の実情や特性も踏まえた上で考えないといけない。	2	企画部	<p>整備の中には、道路整備と公共交通網の整備があり、ご意見のとおり、道路整備は大変重要なことである。一方、移動手段として、公共交通機関に頼らざるを得ない高齢者の方々もおられることから、本市としては、多様化する市民の交通ニーズに対応できるよう、道路整備と合わせて、公共交通機関の充実（機能強化や交通結節拠点の整備など）についても、取り組んでいるところである。</p> <p>※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (5) 交通体系 / ②市内交通体系 / 47 ページ</p>	2
		2	建設局	<p>地域間道路や周辺団地とのアクセス道路並びに公共施設に隣接する道路整備や地域特性に応じた有機的な生活道路網の整備を推進する。また、広域交通体系において、各期成会等を通し、国道、県道の整備を促進するなど、広域幹線道路網の充実強化を図る。</p> <p>※合併協定項目 (21) 建設関係事業 / 19 高規格幹線道路等の整備促進 / 鹿児島市として各期成会等に加入し、高規格幹線道路等の整備促進を図る。</p> <p>※新市まちづくり計画 3 快適環境都市 / (5) 生活道路 / ①生活道路 / 39 ページ 4 交流拠点都市 / (5) 交通体系 / ①広域交通体系 / 46 ページ</p>	2

平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
5	5 地域の基幹産業は農業であり、農業の活性化がこれからの大きなテーマだと思ふ。新たな視点で鹿児島市全体の農業について考える必要がある。	2	経済局	本市では、これまで消費地を控えている有利性を生かし、軟弱野菜など生産性の高い農業を推進しているところである。これらとともに、茶・小みかん・ニガウリなど地域の特色ある農業の振興や地産地消の推進など、各地域がもつ特性を生かした都市部と農村部の交流を促進することにより地域農業の活性化を図っていくことにしている。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (3) 農村地域整備 / 45ページ	1
6	合併に伴い豊富な農業を有することになったので、鹿児島市の農業戦略を作るべきではないか。どのマーケットを、ターゲットとし、どのような流通を行っていくのかなど、現在どのようになっているのか示して欲しい。	2	経済局	本市では、都市近郊に立地する優位性を生かし、鹿児島市中央卸売市場向けの軟弱野菜等の生産が行われている。一方、市場外流通として青空市場やスーパーでの産直コーナー、無人販売所等での販売など地域の実情にあった多様な流通が見られるほか、近年では、大型生産団地が整備されてきたことにより県外スーパーへの契約販売も増えきている。また、合併した各地域では、その特性を生かした地域特産農産物の生産が行われており、JAによる協同販売により県外市場への販売も行われている。 農産物の流通については、今後ともこれまでの各地域で確立された流通を基本に、関係機関で構成された市園芸作物振興協議会により有利な流通のあり方を検討していくこととしている。	1

平成17年度第2回かごしままちづくり会議における意見等の検討状況一覧表

意見等の分類 : 1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他
 検討状況の分類 : 1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、
 4 市の所管に属さないもの、5 その他

番号	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
7	生見海水浴場の整備は砂の流出など県との関係もあるが、シャワー室や表示看板などの整備など少し改善を行い、人が呼び込める場所にしてほしい。そうすることによって、喜入地域は遠いという意識も取り除かれ、親しみが湧いてくるのではないか。	1	教育委員会	海水浴場開設に向け水質検査を行ったところ、日判定で開設可能という結果であった。また、多くの市民の方々の憩いの場・健康づくりの場として利用していただいたために、6月にトイレ及び脱衣所を改修し、看板も建て替えたところである。 ※新市まちづくり計画 4 交流拠点都市 / (4) ウォーターフロント / 46 ページ	1

平成17年度第1回地域まちづくり会議における意見等の検討状況一覧表（全市的な事項）

意見等の分類：1 各地域に係る事項、2 全市的な事項、3 その他（質問、所感等を含む）
 検討状況の分類：1 既に施策等に盛り込み済みのもの、2 今後施策への反映を検討するもの、3 要望等にそい難いもの、4 市の所管に属さないもの、5 その他

地域	意見等の概要	意見等の分類	関係部局	意見等に対する検討状況	検討状況の分類
喜入	個人情報保護のことは理解しているが、集落の運営を円滑に行うため、転出・転入等住民の異動情報を集落長や民生委員に連絡する方法は何かないか。	2	市民局	住民異動に関する情報管理については、法令等に基づき適正かつ厳格に行っており、情報を提供するのには難しいのでご理解いただきたい。	3
喜入	防空壕の危険箇所について喜入地域の状況を把握しているのか。	2	市民局	防空壕の危険箇所については、平成13年度の調査では13件、今回の調査結果で個人所有地内に新たに22件が見つかり、そのうち、子供が遊んだ形跡やたき火をした形跡があったものはなく、物置として使用されているものが7件あった。	2
松元	松元地域にも地下壕やため池、古井戸などの危険箇所があるようだが、これらの対策はどのようなものか。	2	市民局	防空壕の危険箇所については、市民情報、小中学校情報などで新たに確認された地下壕を、建設局、経済局へ依頼し、調査を行っているところである。また、小中学校等において、校区内の危険箇所の再点検を行い、「環境点検マップ」の見直し・作成を行っている。	2
郡山	防空壕の調査を進めていると思うが、学校やPTA等とも連携を図っていく必要があるので、防空壕以外の危険度の高い箇所も含めて情報を提供してほしい。	2	市民局	防空壕の危険箇所については、市民情報、小中学校情報などで新たに確認された地下壕を、建設局、経済局へ依頼し、調査を行っているところである。また、小中学校等において、校区内の危険箇所の再点検を行い、「環境点検マップ」の見直し・作成を行っている。	2

平成17年第2回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	桜島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
11		<p>防災対策事業の軟弱野菜ハウス設備は、降灰には効果があるが、火山ガスを防止でききる施設の検討、又は被害補償の助成を考えてほしい。</p>	<p>里道等の生活道路整備については、拡幅を対象としていないか整備の市の制度ではなかなか整備を進めることが難しいかと思うので、用地買収を含む拡幅を行うていた旧喜入町の補助制度と同様の制度を検討できないか。</p>	<p>アスペストは一般人には見分けがつかない。一般住宅の壁などにアスペストが含まれているかを判定する専門職員や検査機関はないのか。</p>	<p>郡山地域の農地は基盤整備が進んでいるものの、作り手が減少しているため、今後は真落で農地を守っていくために耕作を委託する組織が必要だと思ふ。</p>
12		<p>道路の刈った雑草は、市の焼却場に運搬すると聞いているが、運搬経費、処理費用を考えると処理方法に疑問を抱く。休耕地を借用して廃棄することでも堆肥になるので考えてほしい。</p>	<p>喜入地域においては、校区が中心となつてコミュニティ活動を進めてきたので、校区活動も町内会活動と同様に、いきいき地域社会づくりに事業補助の対象としていただきたい。</p>	<p>4車線に改良されたた泉道小山田谷山線にある横断歩道は間隔がそろわうた。横断歩道を設置する部局と通学路を所管する部局との連携がとれていないのでは。</p>	<p>今後の農家は、認定農家になるくらい目標をもって取組がなくなる。非常に厳しい状況がある。国の制度等も認定農家中心になつていくようである。</p>
13		<p>イノシシ被害対策として、畑地帯と森林地帯の境界に電気柵を設置してもらえないか。</p>		<p>県道鹿児島東市来線の改良に伴つて生じた残地(上伊集院駅近く)を、JRで市街地へ通勤する人たちが駐車場として利用しているが、何らかの規制がでないか。</p>	<p>2007年以降、団塊の世代が大量定年を迎えるが、3年間の退職金が100兆円という試算も出ており、これらからの退職者の中には田舎住まいをしたいという希望者が非常に多い。これらに対して趣味としての農業を勤める意味で、情報提供や環境づくり、或いは支援策を考えて、郡山地域に住まわせないまでも、通つて田畑を耕していただくような方策が必要ではないか。そういった取組みから定住者も出てくる可能性があると思ふ。</p>
14					<p>都市農業センターの貸し農園は、常に満杯のようであるが、郡山地域には休耕地がたくさんあるため、農地を貸したい人、借りたい人の取次ぎをすような窓口があればいいのではないか。さらに一歩踏み込んで市街地のマンション族に対して農地や竹林の空き情報等を発信して利用してもらつたような方策を取れないものか。</p>
15					<p>都市農業センターのような貸し農園や観光農園とするためには、ある程度の農地を真積して、そこで交流できるといふことも必要だと思ふので、行政の方でも検討していただければと思ふ。</p>

平成17年第2回地域まちづくり会議概要

区分	吉田地域まちづくり会議	横島地域まちづくり会議	喜入地域まちづくり会議	松元地域まちづくり会議	郡山地域まちづくり会議
16					若い世代は、農地を借りても作り方が分からない。高齢者が指導者になつて、一緒に作物が作れるようなシステムがあれば、高齢者の生きがいづくりや世代間交流にもなっているのではないか。
17					農業の零細化が進んでいる中で、個々の農家が農業機械を購入することは負担が大きいため、農協等が中心になって農業機械を貸し出すようなシステムが必要ではないかと思う。
18					日本は食糧の多くを輸入に頼っているが、いずれ競争の時代が来るとは明白であり、「食」の大切さと「食」につながる「農業」の重要性を子どもたちに伝える必要がある。
19					花屋神社の参道周辺に農作物の直売所を設置してはどうか。
20					郡山地域の特産品としてレイシ、たけのこなどがあるが、そのほか八重の棚田米は寒暖の差が大きいことから非常においしいと評判で鹿児島市街地からの予約が多いようである。こういったものをブランド化して、イメージづくりと情報発信を行うことにより効率よく販売できるような方策をとれないものか。
21					郡山地域の商業関係については、非常に寂しい状況があるが、区画整理事業の実現により駐車場や道路が拡張され、利用しやすい地域になることで、ある程度の交流人口の増加も期待できるのではないかと考えているので、区画整理事業の早期実現に取り組んでいかなければならない。